

企業関係者と弁理士の知財研究会

第17回(2022年度-1)・実施報告書

令和4年5月26日

樋口正樹、岡田健太郎、栗田由貴子
藪田豊、大野玲恵、後藤仁志

令和4年5月26日(木)に行われた、企業関係者と弁理士の知財研究会・第17回について、実施報告をいたします。

実施したクラス

当初の予定どおり、午後3時半～5時のクラスと午後5時半～7時のクラスの2クラスを実施した。内容は同じである。

参加人数

担当の神奈川委員を除き、3時半クラス9名、5時半クラス5名。

参加者の内訳

① 3時半クラス

	企業関係者	特許事務所	法律事務所	合計
会場受講	1	0	0	1
オンライン受講	4	3	1	8
合計：	5	3	1	9

② 5時半クラス

	企業関係者	特許事務所	法律事務所	合計
会場受講	1	1	0	2
オンライン受講	1	2	0	3
合計：	2	3	0	5

司会進行

樋口正樹、岡田健太郎

テーマ

補正（新規事項の追加の禁止）

内容

補正における新規事項の追加について、ソルダーレジスト事件において示された規範の適否およびその内容について検討を行った。基本的には同一の内容であるが、各回において特に以下の点を特に検討した。

① 3時半クラス

- ・ソルダーレジスト事件において示される補正の範囲は、従来の「記載された事項および記載から自明な事項」と同一か
- ・補正の適否の判断基準として「新たな技術的事項を追加するものではない」なる基準を使用することが適切か

② 5時半クラス

- ・補正の適否の判断基準として「新たな技術的事項を追加するものではない」なる基準を使用することが適切か
- ・新基準によって補正することにより、後願発明について新規性が否定される恐れがある。これは適切か、どのように考えるべきか。

担当者コメント

今回も、3時半クラス、5時半クラスともに、オンライン受講により遠隔地からご参加いただいた方が複数名いらっしゃった。但し、会場に来られる方も増えてきている傾向にある。3時半クラス、5時半クラスともに、非常に活発な議論がなされ、参加者からの評判も概ね好評であった。出席者によって発言量に多少の差があり、司会を工夫することにより、議論のさらなる活発化が期待される。

今後の予定

第 18 回（2022 年度－2）令和 4 年 7 月 28 日(木)予定。テーマは「選択発明」

第 19 回（2022 年度－3）令和 4 年 9 月 22 日(木)予定。テーマは「間接侵害」

以上